

農の架け橋 地域と共に

— 白子町農業委員会だより NO. 36 —



令和2年11月
編集・発行/
白子町農業委員会

『町の頑張る農業担い手集団』を皆さんに紹介します。

『農業をもっと面白く 農Enjoy 農Life』

長生農業協同組合青年部 白子支部

長生農業協同組合青年部 白子支部は、地域農業を守り発展させていくとともに、農業青年の経済的、社会的または政治的地位の向上を目的に、昭和50年2月、白子町農協青年部として設立。その後、昭和52年8月に農協の合併に伴い、長生農協青年部 白子支部となりました。現在の支部会員数は20名。様々な事業を積極的に展開しており、昔から活気溢れる団体です。

「子ども達に、農作物の育つ様子、収穫の喜びを実感して欲しい。」という主旨のもと、町内の保育園児にさつま芋の苗植え・芋掘り体験を昭和58年から続けており、また、秋の恒例行事である「ふるさとしらこ祭」では、前日から部員みんなで大量の餅をつき、“餅投げ”を開催。毎年、多くの参加者があり、人気イベントとなっています。

また、町の特産品である 焼酎『南白亀』の原料である さつま芋(紅あずま)作りを、青年部OB団体である「南白亀會」から引き継ぎ、遊休農地を活用して、さつま芋の栽培、出荷を行っています。

現在、部長を務める 大多和 重則さんに話を伺いました。「青年部の自慢は、『団結力、行動力』。年齢に関わらず、お互いを尊重しながら活発な意見交換を行うことで“ひとつ”にまとまっています。今年は、コロナ禍により活動が制限されてしまっているが、『農業をもっと面白く 農Enjoy 農Life』を合言葉として、これからも地域農業発展のために、いろいろなことに挑戦していきたい。」と、話してくれました。



【部員みんなで、さつま芋を収穫】



【秋の人気イベント“餅投げ”を開催】

※「保育園児のさつま芋苗植え・芋掘り」「ふるさとしらこ祭」は、今年はコロナ禍により中止となりました。

○ 老後生活への備えは十分ですか？－「農業者年金」に加入して安心して豊かな老後を！－

○ **こんなにかかる老後生活 【現金支出で年額 約288万円】**

高齢農家世帯(世帯主が65歳以上の夫婦2人)家計費は、現金支出で月額24万円が必要です。

○ **国民年金の支給額は？ サラリーマンの年金は？**

国民年金は、月々約6万5千円(40年加入の場合)夫婦あわせて月額約13万円です。

厚生年金のモデルケースでは、夫婦あわせて月額約22万1千円です。

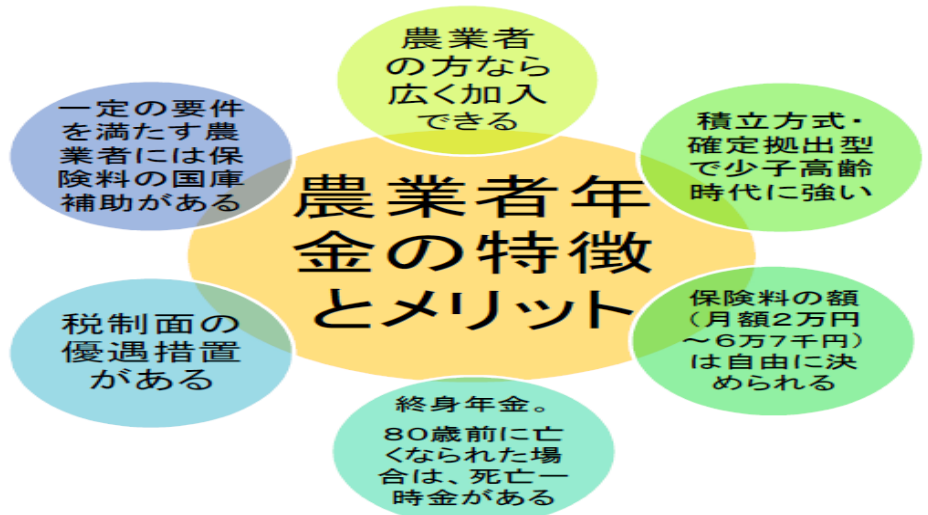
○ **日本は、世界でも有数の長寿国 【65歳の平均余命は 男性20年(85歳) 女性24年(89歳)】**

老後はお金の心配をせずに暮らしたい。しかし、予想不可能な経済変動や思わぬケガ・病気もあります。

～ **農業者年金** は、農家のことを知りつくした「**農家のための年金**」です。～

サラリーマンは、厚生年金や共済年金で、国民年金(基礎年金)への上乗せがあります。農業者は、豊かな老後の生活のためには、国民年金だけでは十分と言えず、老後の生活費は自分で準備する必要があります。

農業者の皆様も、メリットがたくさんある農業者年金に加入して安心して豊かな老後を迎えましょう。



○ **農業者年金の受給額の試算**

| 加入年齢 | 納付期間 | 保険料 納付総額 | 年金額(年額) | | 想定される受給総額 | |
|------|------|-------------|---------|------|-----------|---------|
| | | | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 |
| 20歳 | 40年 | 960万円 | 75万円 | 63万円 | 1,614万円 | 1,704万円 |
| 30歳 | 30年 | 720万円 | 50万円 | 42万円 | 1,071万円 | 1,131万円 |
| 40歳 | 20年 | 480万円 | 30万円 | 25万円 | 634万円 | 670万円 |
| 50歳 | 10年 | 240万円 | 13万円 | 11万円 | 283万円 | 299万円 |

※上のケースは、通常加入で保険料月額2万円加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.20%となった場合の試算です。受給総額は65歳での農業者年金加入者について想定している平均余命を考慮し、男性86.5歳、女性92.0歳まで生存した場合の金額です。

※運用利回りは、加入後の経済変動により上下します。制度発足以降の17年間(平成30年度まで)の運用利回りの平均は、年率2.82%です。

※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、令和2年度は0.20%となっています。

※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。

○ **農業者の老後の生活の収入は、国民年金＋農業者年金が基本。**

国民年金の支給額は月額最高6万5千円、夫婦お二人で約13万円です。一方、高齢農家の家計費は夫婦お二人で24万円が必要です。➡ 国民年金の不足分をしっかりとカバーします。

| | 65歳～87歳の年金額(夫婦) | 88歳～92歳の年金額(妻のみ) |
|-----------------------------|---|--|
| ケース1 農業者年金に夫のみ加入 | 国民年金 夫 月額 6万5千円 妻 月額 6万5千円 計 月額 13万円 農業者年金 夫 月額 4万2千円 合計：月額 17万2千円 | 国民年金 妻 月額 6万5千円 農業者年金 なし 合計：月額 6万5千円 |
| ケース2 農業者年金に夫婦で加入 | 国民年金 夫 月額 6万5千円 妻 月額 6万5千円 計 月額 13万円 農業者年金 夫 月額 4万2千円 妻 月額 3万5千円 計 月額 7万8千円 合計：月額 20万8千円 | 国民年金 妻 月額 6万5千円 農業者年金 妻 月額 3万5千円 合計：月額 10万1千円 |

※農業者年金の試算額については、65歳までの運用利回り2.5%、65歳以降の予定利率は0.20%として行っています。

※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、令和2年度は0.20%となっています。

※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。

<出典>独立行政法人 農業者年金基金 パンフレット「農業者年金で生活の安定を考えませんか」